

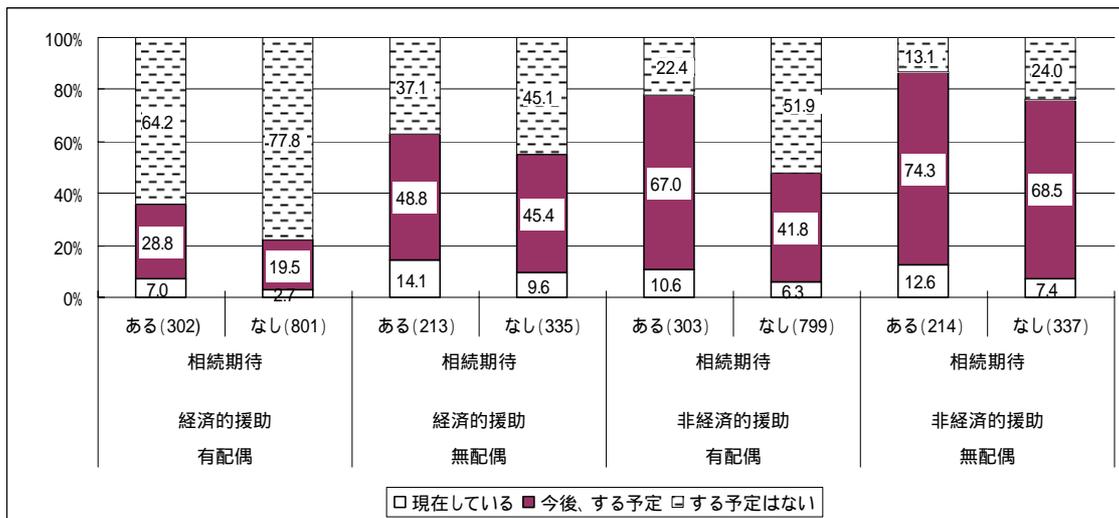
II. 相続期待が親子関係、生活意識に与える影響

(1) 相続期待がある女性は、親の老後に援助する意向も強い

女性の、親からの相続期待の有無が親子関係や家計に及ぼす影響について分析した。「あなたの親から将来相続を受けることになるといいますか」という質問に対し、「思う」（以下では、この質問に「思う」と答えた人を「相続期待あり」とする）と答えた女性の割合はパネル13では34.1%であった。パネル11では32.6%、パネル12では31.7%であり、近年は30%台前半で推移している。

相続期待と親子関係、とくに親の老後の経済的・非経済的援助について分析した結果が図表II-1である。「今後、あなたの親に経済的援助をするつもりですか」、「今後、あなたの親のお世話（家事、介護、訪問）をするつもりですか」という質問への回答をみると、有配偶・無配偶とも相続期待がある女性のほうが親への経済的・非経済的援助を行っている（または今後行う）傾向がある。経済的援助については、有配偶で「相続期待あり」と答えた女性のうち、「現在している」人が7.0%、「今後、する予定」がある人が28.8%、「する予定はない」人が64.2%である。これに対して、「相続期待なし」と答えた女性は、順に2.7%、19.5%、77.8%である。無配偶の場合についても同様の結果である。一方、非経済的援助については、有配偶で「相続期待あり」と答えた女性のうち、「する予定はない」は22.4%とわずかである。一方、「相続期待なし」と答えた人で、「する予定はない」は51.9%と過半数を超えている。無配偶も同様の傾向があり、相続期待の有無によって「する予定はない」の割合に2倍近い開きがあった（13.1%と24.0%）。

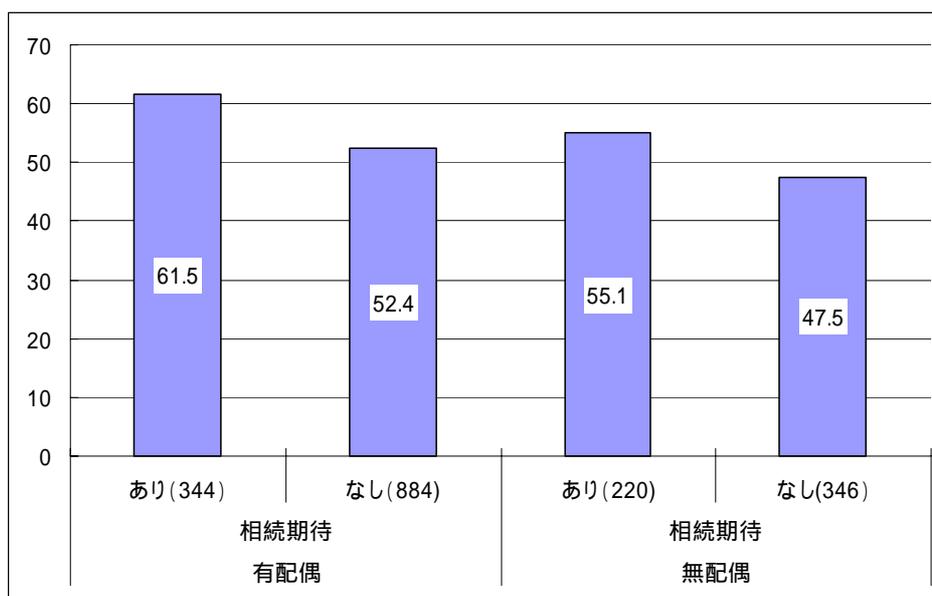
図表II-1 女性の親からの相続期待の有無と
経済的・非経済的援助意向の有無



(2) 相続期待がある女性の方が今の生活に満足

相続期待の有無による生活意識の違いをみると(図表Ⅱ-2-1、図表Ⅱ-2-2)「相続期待あり」と答えた女性の方が「なし」と答えた女性よりも生活満足度、生活程度の評価も高く、相続期待のある人の方が恵まれた状況にあることがうかがえる。

図表 - 2 - 1 生活に満足している人の割合(%)



図表 - 2 - 2 生活程度「上」+「中の上」の人の割合(%)

